

第 43 回（平成 22 年度）研究発表会論集

（平成 22 年度 研究発表委員会）

（社）建設コンサルタント協会 近畿支部

平成 22 年 7 月 1 日発行

序

社団法人建設コンサルタンツ協会近畿支部主催の研究発表会も今回で43回目を迎えることとなりました。このような年次大会は継続することに意義があり、これまでの関係各位、先輩方のご努力の賜物と改めて感謝申し上げます。

本年度の研究発表会は昨年と同様に一般発表、若手技術者によるプレゼン発表、特別講演の3部門で構成しております。一般発表は35件の応募をいただきました。プレゼン発表は27件の応募があり、合計62件と昨年の実績と同じ数の応募を頂きました。年度末のお忙しい時期にも関わらず応募して頂きました皆様には感謝に耐えません。

特別講演は、午前の部と午後の部の2講演です。午前の部では、京都大学経営管理大学院・院長の小林潔司教授をお迎えし、「インフラマネジメントの現状と展望」という題目でご講演を頂きます。小林先生はインフラマネジメントの第一人者であり、維持管理やマネジメントに重点が移りつつある社会資本整備に貢献する我々建設コンサルタンツが今後何をなすべきかについて、示唆に富んだお話を伺えるものと期待します。午後の部では、国土交通省近畿地方整備局の山本 剛 技術調整管理官をお迎えして、「建設コンサルタンツをめぐる諸情勢（仮称）」と題してご講演を頂きます。少子高齢化や公共事業費減少などの社会経済情勢の変化、プロポーザルや総合評価などの発注方式の変化への対応などをうけて、発注者としてのお立場から建設コンサルタンツに関する貴重なお話が伺えることと思います。

研究委員会は平成22年度から新しく、「公共土木施設の維持管理に関する研究委員会」が発足しました。増大するストックの老朽化とともに、社会経済状況の変化と財政的に厳しい条件下で、現存する社会資本の効果的な運用・維持管理が極めて重要となっております。近年、長寿命化修繕計画や維持管理計画策定の導入に積極的ではありますが、予算、人員、運用体制、データ不足などの課題があることも事実であり、環境や防災の観点からみた維持管理の考え方も今後は重要になってきます。この研究委員会はまだ始まったばかりで成果を発表するというわけにはいきませんが、午後の特別講演の前に少しだけ時間をとって、「お知らせ」という形で委員会の概要、目的、目指すべきゴールなどを説明させて頂く予定にしております。今後の社会資本整備では維持管理の重要性が増していく中、我々建設コンサルタンツがどのように関わっていくかを議論し、維持管理に関する新しいビジネスモデルの必要性を認識しつつ、この維持管理研究委員会でのよい成果がでることを期待しております。

本論文集は平成19年度以降CD化を図っており、本年度も内容の全てをCDに収めております。

最後に、論文執筆者、特別講演を快くお引き受け頂きました皆様、審査委員の方々、研究発表会の準備に1年間もの時間を割いて頂いた研究発表委員会の皆様や近畿支部事務局の皆様、その他ご協力を頂きました多くの関係者の方々に心から厚く御礼を申し上げます。

平成22年7月

平成22年度研究発表委員会
委員長 保田 敬一

目 次

序	文	1
目	次	2
プ	ロ	4
グ	ラ	4
ラ	ム	4
ム	表	5

【プレゼンテーション アブストラクト】

プレゼンテーション	1	分流水下水道における降雨時浸入水の実態調査について	6
プレゼンテーション	2	地域水害リスクコミュニケーションツールとしての避難行動シミュレータの適用性	7
プレゼンテーション	3	津波漂流物の三次元挙動解析手法の開発	8
プレゼンテーション	4	非線形波浪変形計算モデルを用いた沿岸部越波被害の要因分析及び対策工の検討	9
プレゼンテーション	5	自然堆積粘土の物理特性と土色の相関について	10
プレゼンテーション	6	人間活動が活発な領域の土砂流出予測	11
プレゼンテーション	7	レーダを用いた掃流砂計測に関する水路実験	12
プレゼンテーション	8	都市計画による土地利用変化を考慮した浸水被害分析	13
プレゼンテーション	9	「川の守り人」との連携による河川整備	14
プレゼンテーション	10	CCTV画角調査の紹介	15
プレゼンテーション	11	景観的観点からみた橋梁デザイン論に関する研究 -近代の大阪中之島橋梁群における設計思想・手法およびその特徴-	16
プレゼンテーション	12	移動体通信を用いた、橋梁微気象遠隔モニタリングシステムの開発	17
プレゼンテーション	13	橋梁構造物の耐震性評価のための小型振動台の有効利用法に関する研究	18
プレゼンテーション	14	等価線形化したモード応答を用いた二自由度弾塑性系の最大応答変位の推定	19
プレゼンテーション	15	遺伝的アルゴリズムと有限要素解析を用いた内部き裂同定手法に関する基礎的研究	20
プレゼンテーション	16	菊川断層の形態と連続性について	21
プレゼンテーション	17	不圧地下水の定常浸透流解析に関する研究	22
プレゼンテーション	18	X線CTを用いた海浜断面変形に伴う底質内部の密度・空隙時空間変動解析	23
プレゼンテーション	19	世帯の空間分布予測モデルを用いた計画支援システムの開発	24
プレゼンテーション	20	北近畿自動車道八鹿豊岡南道路におけるソーラーパネルの設置検討	25
プレゼンテーション	21	森林における三次元光分布モデルの研究	26
プレゼンテーション	22	住宅地街路景観における方向別情報量を用いた景観評価	27
プレゼンテーション	23	寒冷地トンネルにおける温度応力の算定式	28
プレゼンテーション	24	都市コンパクト化政策に対する都市計画行政担当者等の態度形成・変容分析 -ソーシャル・キャピタルに着目して-	29
プレゼンテーション	25	利用者の合意形成を達成する横断歩道橋の協議説明資料作成	30
プレゼンテーション	26	施肥濃度の変化がアカマツ実生の形態および生理特性に与える影響	31
プレゼンテーション	27	高浜橋ライトアップの検討	32

【一般発表論文】

河	川	系	28	琵琶湖・淀川水系断水社会実験について	33			
河	川	系	29	世界遺産と調和した治水対策案の検討	37			
河	川	系	30	河川改修における地下水流動予測とその対策について	41			
河	川	系	31	内水氾濫が顕著な流域における本川河川改修事業の妥当性検討	47			
計	画	・	交	通	系	32	持続可能な地域づくりに必要なコーディネート手法	53
計	画	・	交	通	系	33	交通流の特性に配慮した平面交差点の渋滞対策計画	59
計	画	・	交	通	系	34	平城遷都1300年祭に向けた“パーク&バスライド”プレ実験の実施	63
計	画	・	交	通	系	35	国道196号自転車走行空間社会実験に関する効果分析	67
計	画	・	交	通	系	36	新規バイパス建設に伴う既設灌漑用水施設(マンボ)への影響検討報告	72
計	画	・	交	通	系	37	GISを用いた路面点検データベースシステムの開発	77
計	画	・	交	通	系	38	ワークショップ手法を用いた国定公園の登山道整備計画の立案	83
計	画	・	交	通	系	39	バリアフリー新法に対応した基本構想の策定促進に関する研究	87
土	質	系	40	水理地質構造に着目した重力式コンクリートダムグラウチング施工	91			

土質系	41	新第三紀層地すべりにおける、地下水排除工による効果および評価	95
土質系	42	鋼管擁壁における土圧軽減工法の検討	101
土質系	43	工事用道路における振動対策の現地検証結果について	105
土質系	44	道路橋脚に近接したシールド反転用立坑の設計	111
土質系	45	盛土施工事例に基づく高有機質土地盤の圧密変形解析に関する一考察	117
土質系	46	共用中の高速道路保全を目的とした土石流対策におけるモデル的検討ー土石流流向制御工(土石流導流壁)の提案ー	122
構造系・施工系	47	山間部を流れる河川を横過する橋梁の計画・設計	128
構造系・施工系	48	RC巻立補強済み橋脚と未補強の橋脚が混在する既設橋梁の耐震補強設計	134
構造系・施工系	49	RC巻立てによる壁式橋脚の段落とし部一体化の検討	138
構造系・施工系	50	既設下部工基礎の補強回避を目的としたPRC11径間連続3主版桁橋の設計	142
構造系・施工系	51	RC単純ラーメン橋における下部工剛性の影響に関する考察	147
構造系・施工系	52	景観に配慮した溪谷部河川に架かるプレストレストコンクリート箱桁橋の計画	153
構造系・施工系	53	橋梁維持管理基図作成装置の開発	159
構造系・施工系	54	塩害損傷を受けた橋梁の復旧対策事例と予防保全に関する一考察	163
環境系	55	交差点における局地汚染改善対策効果検討	169
環境系	56	都市環境に配慮した舗装技術検討	175
環境系	57	芦田川における地域住民と連携した水質浄化活動	179
環境系	58	新規バイパス建設に伴う狭小スペースにおける調整池構造の検討	185
環境系	59	事業評価の視点から見た堀川水辺環境整備	190
環境系	60	「渦(うず)流式水面制御装置」～導入状況と今後～	194
環境系	61	水際植生による湖岸保全計画	198
環境系	62	ケイ酸等の栄養塩コントロールによる水質浄化	203
編集後記			207
(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部会員名簿(平成22年7月1日現在)			208
(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部技術研究会会員名簿(平成22年7月1日現在)			212

第43回 研究発表会 プログラム 【H22.9.9 (木) 大阪科学技術センター】

開会あいさつ：大ホール（8F）

9:10～9:20

近畿支部 支部長 松本 正毅

特別講演①：大ホール（8F）

11:05 『インフラマネジメントの現状と展望』

～12:25

京都大学 教授 小林 潔司

特別講演②：大ホール（8F）

15:30 『建設コンサルタントをめぐる諸情勢』

～16:30

近畿地方整備局 企画部 技術調整管理官 山本 剛

プレゼンテーション発表講演：701（午前・午後）

- 1 9:30 分立式下水道における降雨時浸入水の実態調査について
～9:50 協和設計(株) 糟谷 雄一
- 2 9:50 地域水害リスクコミュニケーションツールとしての避難行動シミュレーションの適用性
～10:10 (株)建設技術研究所 原田 翔太
- 3 10:15 津波漂流物の三次元挙動解析手法の開発
～10:35 (株)ニュージェック 永島 弘士
- 4 10:35 非線形波浪変形計算モデルを用いた沿岸部越波被害の要因分析及び対策工の検討
～10:55 パシフィックコンサルタンツ(株) 大久保 陽介
- 5 13:25 自然堆積粘土の物理特性と土色の相関について
～13:45 中央復建コンサルタンツ(株) 稲田 香菜子
- 6 13:45 人間活動が活弁領域の土砂流出予測
～14:05 (株)修成建設コンサルタント 田中 美帆
- 7 14:10 レーダを用いた掃流砂計測に関する水路実験
～14:30 (株)ニュージェック 高原 晃宙
- 8 14:30 都市計画による土地利用変化を考慮した浸水被害分析
～14:50 協和設計(株) 佐竹 和美
- 9 14:50 「川の守り人」との連携による河川整備
～15:10 (株)オリエンタルコンサルタンツ 小川 愛子

プレゼンテーション発表講演：小ホール（午前・午後）

- 10 9:30 CCTV画角調査の紹介
～9:50 (株)CTIウイング 佐野 智頭
- 11 9:50 景観の観点からみた橋梁デザイン論に関する研究—近代の大坂中之島橋梁群における設計思想・手法およびその特徴—
～10:10 中央復建コンサルタンツ(株) 阿久井 康平
- 12 10:15 移動体通信を用いた、橋梁微気象遠隔モニタリングシステムの開発
～10:35 三井共同建設コンサルタント(株) 石橋 直樹
- 13 10:35 橋梁構造物の耐震性評価のための小型振動台の有効利用法に関する研究
～10:55 (株)ニュージェック 中西 泰之
- 14 13:25 等価線形化したモード応答を用いた二自由度弾塑性系の最大応答変位の推定
～13:45 東洋技研コンサルタント(株) 松葉 慎太郎
- 15 13:45 遺伝的アルゴリズムと有限要素解析を用いた内部き裂同定手法に関する基礎的研究
～14:05 パシフィックコンサルタンツ(株) 永田 佳世
- 16 14:10 菊川断層の形態と連続性について
～14:30 (株)エイト日本技術開発 後根 裕樹
- 17 14:30 不圧地下水の定常浸透流解析に関する研究
～14:50 協和設計(株) 田賀 敏子
- 18 14:50 X線CTを用いた海浜断面変形に伴う底質内部の密度・空隙時間変動解析
～15:10 (株)ニュージェック 蒲原 さやか

プレゼンテーション発表講演：中ホール（午前・午後）

- 19 9:30 世帯の空間分布予測モデルを用いた計画支援システムの開発
～9:50 中央コンサルタンツ(株) 長崎 浩紀
- 20 9:50 北近畿自動車道八鹿豊岡南道路におけるソーラーパネルの設置検討
～10:10 (株)オリエンタルコンサルタンツ 平田 由貴
- 21 10:15 森林における三次元光分布モデルの研究
～10:35 協和設計(株) 川崎 充
- 22 10:35 住宅地街路景観における方向別情報量を用いた景観評価
～10:55 (株)片平エンジニアリング 関 皓介
- 23 13:25 寒冷地トンネルにおける温度応力の算定式
～13:45 パシフィックコンサルタンツ(株) 畠山 幸佑
- 24 13:45 都市コンパクト化政策に対する都市計画行政担当者等の態度形成・変容分析—ソーシャル・キャピタルに着目して—
～14:05 (株)ニュージェック 芝池 綾
- 25 14:10 利用者の合意形成を達成する横断歩道橋の協議説明資料作成
～14:30 協和設計(株) 伊澤 公太郎
- 26 14:30 施肥濃度の変化がアカマツ実生の形態および生理特性に与える影響
～14:50 (株)オリエンタルコンサルタンツ 西ノ園 ちえみ
- 27 14:50 高浜橋ライトアップの検討
～15:10 (株)日建技術コンサルタント 櫻井 朝子

一般発表講演：各会場（詳細はスケジュール表参照）

【河川系】702（午前）

- 28 9:30 琵琶湖・淀川水系断水社会実験について
～9:50 (株)ニュージェック 相川 晃平
- 29 9:50 世界遺産と調和した治水対策案の検討
～10:10 三井共同建設コンサルタント(株) 竹田 豊
- 30 10:15 河川改修における地下水流動予測とその対策について
～10:35 (株)エイト日本技術開発 原 伸匡
- 31 10:35 内水氾濫が顕著な流域における本川河川改修事業の妥当性検討
～10:55 (株)建設技術研究所 伊藤 康

【計画・交通系】405（午前・午後）

- 32 9:30 持続可能な地域づくりに必要なコーディネート手法
～9:50 パシフィックコンサルタンツ(株) 日向 隆裕
- 33 9:50 交通流の特性に配慮した平面交差点の渋滞対策計画
～10:10 中央コンサルタンツ(株) 伊藤 昭宏
- 34 10:15 平城遷都1300年祭に向けた“パーク&バスライド”プレ実験の実施
～10:35 CTIウイング(株) 石灰 健治
- 35 10:35 国道196号自転車走行空間社会実験に関する効果分析
～10:55 (株)オリエンタルコンサルタンツ 黒川 祐里
- 36 13:25 新規バイパス建設に伴う既設灌漑用水施設(マンボ)への影響検討報告
～13:45 協和設計(株) 鶴原 翼
- 37 13:45 GISを用いた路面点検データベースシステムの開発
～14:05 中央復建コンサルタンツ(株) 田中 庸平
- 38 14:10 ワークショップ手法を用いた国定公園の登山道整備計画の立案
～14:30 中央コンサルタンツ(株) 野田 亮
- 39 14:30 バリアフリー新法に対応した基本構想の策定促進に関する研究
～14:50 パシフィックコンサルタンツ(株) 有田 義隆

【土質系】404（午前・午後）

- 40 9:30 水理地質構造に着目した重力式コンクリートダムグラウチング施工
～9:50 (株)建設技術研究所 吉田 健司
- 41 9:50 新第三紀層地すべりにおける、地下水排除工による効果および評価
～10:10 (株)ニュージェック 一柳 知之
- 42 10:15 鋼管擁壁における土圧軽減工法の検討
～10:35 (株)修成建設コンサルタント 橋口 正悟
- 43 13:25 工事用道路における振動対策の現地検証結果について
～13:45 日本工営(株) 林 良樹
- 44 13:45 道路橋脚に近接したシールド反転用立坑の設計
～14:05 全日本コンサルタント(株) 田邊 隆
- 45 14:10 盛土施工事例に基づく高有機質土盤の圧密変形解析に関する一考察
～14:30 パシフィックコンサルタンツ(株) 南部 卓也
- 46 14:30 共用中の高速道路保全を目的とした土石流対策におけるモデルの検討—土石流流向制御工(土石流導流壁)の提案—
～14:50 三井共同建設コンサルタント(株) 原田 紹臣

【構造・施工系】401（午前・午後）

- 47 9:30 山間部を流れる河川を横断する橋梁の計画・設計
～9:50 東洋技研コンサルタント(株) 濱田 良平
- 48 9:50 RC巻立補強済み橋脚と未補強の橋脚が混在する既設橋梁の耐震補強設計
～10:10 パシフィックコンサルタンツ(株) 芳賀 堯
- 49 10:15 RC巻立による壁式橋脚の段落とし部一体化の検討
～10:35 JR西日本コンサルタント(株) 岡本 早夏
- 50 10:35 既設下部工基礎の補強回避を目的としたPRC 1 1 径間連続3主版桁橋の設計
～10:55 八千代エンジニアリング(株) 村田 慎
- 51 13:25 RC単純ラーメン橋における下部工剛性の影響に関する考察
～13:45 (株)バスコ 山下 政義
- 52 13:45 景観に配慮した渓谷部河川に架かるプレストレストコンクリート箱桁橋の計画
～14:05 協和設計(株) 秋山 芳幸
- 53 14:10 橋梁維持管理基図作成装置の開発
～14:30 JR西日本コンサルタント(株) 辻家 弘貴
- 54 14:30 塩害損傷を受けた橋梁の復旧対策事例と予防保全に関する一考察
～14:50 (株)エイト日本技術開発 南野 伸彦

【環境系】403（午前・午後）

- 55 9:30 交差点における局地汚染改善対策効果検討
～9:50 中央復建コンサルタンツ(株) 沢村 英男
- 56 9:50 都市環境に配慮した舗装技術検討
～10:10 日本工営(株) 杉山 智治
- 57 10:15 芦田川における地域住民と連携した水質浄化活動
～10:35 (株)建設技術研究所 大西 伸和
- 58 10:35 新規バイパス建設に伴う狭小スペースにおける調整池構造の検討
～10:55 協和設計(株) 大森 映宏
- 59 13:25 事業評価の視点から見た堀川水辺環境整備
～13:45 (株)建設技術研究所 逸見 将志
- 60 13:45 「渦(うず)流式水面制御装置」～導入状況と今後～
～14:05 日本工営(株) 吉田 裕二
- 61 14:10 水際植生による湖岸保全計画
～14:30 (株)キクチコンサルタント 樋口 陽
- 62 14:30 ケイ酸等の栄養塩コントロールによる水質浄化
～14:50 (株)ニュージェック 竹内 麻衣子

委員会からのお知らせ：大ホール（8F）

- 15:20 公共土木施設の維持管理に関する研究委員会からのお知らせ
～15:30

表彰式および開会あいさつ：大ホール（8F）

- | | | |
|-------------|------|-----------------|
| 16:40～17:10 | 表彰式 | 近畿支部 技術部会長 本下 稔 |
| 17:10～17:20 | 開会挨拶 | 近畿支部 副支部長 岡田 鉄三 |

第43回 研究発表会 スケジュール表 【H22.9.9（木）大阪科学技術センター】

	4F				7F		8F		
	401	403	404	405	701	702	小ホール	中ホール	大ホール
9:10 ~ 9:20									開会挨拶
9:20 ~ 9:30	休 憩								
9:30 ~ 9:50	構造・施工系 47 東洋技研C	環 境 系 55 中央復建C	土 質 系 40 建設技術研	計画・交通系 32 パシフィックC	プレゼン発表 01 協和設計	河 川 系 28 ニュー・エック	プレゼン発表 10 CTIウイング	プレゼン発表 19 中央C	
9:50 ~ 10:10	構造・施工系 48 パシフィックC	環 境 系 56 日本工営	土 質 系 41 ニュー・エック	計画・交通系 33 中央C	プレゼン発表 02 建設技術研	河 川 系 29 三井共同建	プレゼン発表 11 中央復建C	プレゼン発表 20 オリエンタルC	
10:10 ~ 10:15	休 憩								
10:15 ~ 10:35	構造・施工系 49 JR西日本C	環 境 系 57 建設技術研	土 質 系 42 修成建設C	計画・交通系 34 CTIウイング	プレゼン発表 03 ニュー・エック	河 川 系 30 エイト日技	プレゼン発表 12 三井共同建	プレゼン発表 21 協和設計	
10:35 ~ 10:55	構造・施工系 50 八千代E	環 境 系 58 協和設計		計画・交通系 35 オリエンタルC	プレゼン発表 04 パシフィックC	河 川 系 31 建設技術研	プレゼン発表 13 ニュー・エック	プレゼン発表 22 片平E	
10:55 ~ 11:05	休 憩								
11:05 ~ 12:25									特別講演 ① 京都大学 小林教授
12:25 ~ 13:25	昼 休 憩								
13:25 ~ 13:45	構造・施工系 51 パスコ	環 境 系 59 建設技術研	土 質 系 43 日本工営	計画・交通系 36 協和設計	プレゼン発表 05 中央復建C		プレゼン発表 14 東洋技研C	プレゼン発表 23 パシフィックC	
13:45 ~ 14:05	構造・施工系 52 協和設計	環 境 系 60 日本工営	土 質 系 44 全日本C	計画・交通系 37 中央復建C	プレゼン発表 06 修成建設C		プレゼン発表 15 パシフィックC	プレゼン発表 24 ニュー・エック	
14:05 ~ 14:10	休 憩								
14:10 ~ 14:30	構造・施工系 53 JR西日本C	環 境 系 61 キクチC	土 質 系 45 パシフィックC	計画・交通系 38 中央C	プレゼン発表 07 ニュー・エック		プレゼン発表 16 エイト日技	プレゼン発表 25 協和設計	
14:30 ~ 14:50	構造・施工系 54 エイト日技	環 境 系 62 ニュー・エック	土 質 系 46 三井共同建	計画・交通系 39 パシフィックC	プレゼン発表 08 協和設計		プレゼン発表 17 協和設計	プレゼン発表 26 オリエンタルC	
14:50 ~ 15:10					プレゼン発表 09 オリエンタルC		プレゼン発表 18 ニュー・エック	プレゼン発表 27 日建技術C	
15:10 ~ 15:20	休 憩								
15:20 ~ 15:30									委員会お知らせ
15:30 ~ 16:30									特別講演 ② 近畿地方整備局 山本技術調整 管理官
16:30 ~ 16:40	休 憩								
16:40 ~ 17:20									表彰式及び 閉会挨拶

※ 受付は8F大ホール前になります。402号室は事務局です。

編集後記

(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部主催の研究発表会は、今年で43回目を迎えることになりました。このように永きに渡って継続されてきたことは、ひとえに関係各位のご協力とご支援の賜物であると感謝いたします。

建設コンサルタントを取り巻く環境は、昨年の政権交代・新政権による事業仕分け・入札契約制度の変化が影響してかますます厳しさを増しており、市場縮小による過度な価格競争も増加しており、真の技術力や品質による競争が阻害されている状況に陥っております。

しかしながら、近年の各地で多発しているゲリラ豪雨による被害や、近い将来発生するであろう東海・東南海・南海地震による被害に対する予防対策技術、及び今後の社会資本整備で不可欠となる維持管理技術を担う我々建設コンサルタントの役割は重要であり、このような時代のニーズに応えるためにも、更なる研鑽を深めていく必要があります。

今年の研究発表会は、山本 剛 技術調整管理官と京都大学 小林潔司 教授による2つの特別講演、5部門35編の一般発表報告、プレゼンテーション発表27編の3つで構成されています。特に若手技術者によるプレゼンテーション発表の応募数が増えており、一般報告発表についても年々内容が高度化してきております。これらのことを鑑み、本研究発表会は、建設コンサルタント技術者の技術交流やプレゼンテーション力向上及び若手技術者育成の場として、ますます活用されることが期待されます。

最後になりましたが、この研究発表会論集を編集するにあたり、論文執筆者、研究発表者、特別講演の皆様、審査員の方々を始め、ご協力をいただいた多くの関係者の方々に心から厚くお礼を申し上げます。

平成22年7月

平成22年度研究発表委員会
副委員長 谷口 一夫

<平成22年度研究発表委員会> (平成22年7月現在)

委員長：保田 敬一	委員：小嶋 勉	委員：栗山 真純	委員：新倉 利之
副委員長：谷口 一夫	委員：小久保敦朗	委員：吉川 究	委員：朝長 哲也
委員：石渡 俊吾	委員：小林 泰宜	委員：中村 則信	
委員：松本 猛秀	委員：田淵 智之	委員：清川 厚史	
委員：鈴木健太郎	委員：稲田 栄二	委員：片山 浩一	